

Rotary International District 2660

Service Above Self - One Profits Most Who Serves Best

国際ロータリー第 2660 地区 2021-22 年度のための地区会員増強セミナー プログラム

日時: 2021年5月22日(土) 14:00~(13:30から入室可能です)

会場: ZOOM ウェビナー

司会: 地区クラブ奉仕・拡大増強委員長 加茂 次也

以下敬称略

14:00 開会・点鐘 ガバナー 簡 仁一

14:03 出席者紹介·資料確認

地区クラブ奉仕・拡大増強委員会委員長 加茂 次也

14:05 ガバナー挨拶 ガバナー 第 仁一

14:10 ガバナーエレクト挨拶及び方針説明 ガバナーエレクト 吉川 秀隆

14:25 「コロナ禍に対応するクラブ運営に関するアンケート」回答集計

地区クラブ奉仕・拡大増強副委員長 金子 勝信

14:40 — — — 1 0 分間休憩 — — — —

14:50 「RI 第 2660 地区の会員数の現状とコロナ禍における会員増強について」 地区クラブ奉仕・拡大増強委員長 加茂 次也

15:05 コロナ禍で増強に成功したクラブ活動事例報告 (5分×2クラブ) 大阪東ロータリークラブ 会員組織理事委員長 太田垣 英士 大阪船場ロータリークラブ 増強委員長 中村 一

15:20 講評 直前ガバナー 四宮 孝郎

15:25 閉会・点鐘 ガバナー 簡 仁一

15:28 アンケート回答(出席証明)

覧 配 布 資 料



- 進行次第と配布資料一覧
- 出席者名簿
- 「コロナ禍に対応するクラブ運営に関するアンケート」の回答集計
- 2660 地区の会員数の現状並びにコロナ禍における退会防止と会員増強
- 標準ロータリークラブ定款並びにクラブ細則改正に関わる留意事項

2021-22年度のための地区会員増強セミナー出席者一覧 ①

(敬称略) ガバナー 簡 仁一 ガバナー補佐エレクト 延原 健二 茨木 大阪大淀 ロータリー日本財団監事 摂津 千里 ガバナー補佐エレクト 茶橋 和夫 井上 暎夫 RIJYEM監事・パストガバナー パストガバナー 神崎 茂 大阪西 ガバナー補佐エレクト 森本 匡昭 大阪城北 大谷 隆英 大阪柏原 パストガバナー 横山 守雄 大阪中央 ガバナー補佐エレクト パストガバナー 大谷 透 大阪西南 ガバナー補佐エレクト 東村 高良 大阪うつぼ 第3地域RC 高島 凱夫 大阪中之島 ガバナー補佐エレクト 吉村 昭 大阪平野 パストガバナー 米山記念奨学会 評議員 神寶 敏夫 大阪梅田 松本 進也 大阪北 ガバナー補佐ノミニー パストガバナー 第3地域ARPIC ガバナー補佐ノミニー 高槻 RIJYEM 副理事長 片山 勉 大阪東 伊藤 智秋 パストガバナ-第3地域2021年台北国際大会 推進コーディネーター補佐 ガバナー補佐ノミニー 山本 博史 大阪南 伴井 敬司 大阪難波 米山記念奨学会理事 パストガバナ-第3地域ARRFC RI研修リーダー 四宮 孝郎 大阪西南 ガバナー補佐ノミニー 若宮 邦弘 大阪天王寺 直前ガバナー 大阪 クラブ奉仕・拡大増強委員会 委員長 東大阪 吉川 秀隆 加茂 次也 ガバナーエレクト ガバナーノミニー 宮里 唯子 茨木西 クラブ奉仕・拡大増強委員会 副委員長 安部 吉宏 大阪西 ガバナーノミニー・デジグネート 辻川 功一 大阪中央 クラブ奉仕・拡大増強委員会 副委員長 髙橋 司 大阪東 ガバナー補佐 地区研修委員会 次年度委員 大阪 クラブ奉仕・拡大増強委員会 副委員長 金子 勝信 東大阪中央 樋口 信治 地区研修委員会 次年度委員 大阪天満橋 クラブ奉仕・拡大増強委員会 委員 大阪南 中島 清治 川田 貴亮 大阪平野 地区研修委員会 次年度委員 新堂 博 大阪城北 クラブ奉仕・拡大増強委員会 委員 岡田 修一 地区研修委員会 次年度委員 清水 久博 大阪南 クラブ奉仕・拡大増強委員会 委員 柳川 義行 吹田 地区代表幹事 吉田 政雄 茨木 クラブ奉仕・拡大増強委員会 委員 松本 吉正 大阪北 次年度地区代表幹事 大阪 クラブ奉仕・拡大増強委員会 委員 高槻東 早嶋 茂 浜田 篤介 次年度地区副代表幹事 生駒 伸夫 大阪 クラブ奉仕・拡大増強委員会 委員 東大阪 石橋 英司 井戸 剛 次年度地区副代表幹事 大阪 クラブ奉仕・拡大増強委員会 委員 藤間 好太郎 大阪水都 次々年度地区代表幹事 下條 泰利 大阪南 クラブ奉仕・拡大増強委員会 委員 能勢 孝一 大阪東 クラブ奉仕・拡大増強委員会 委員 堀田 遥介 大阪北梅田 クラブ奉仕・拡大増強委員会 次年度委員 下宮 義弘 大阪東南 クラブ奉仕・拡大増強委員会 次年度委員 田野瀬 太樹 大阪 大阪 クラブ奉仕・拡大増強委員会 次年度委員 三島 基司

2021-22年度のための地区会員増強セミナー出席者一覧 ②

(敬称略)

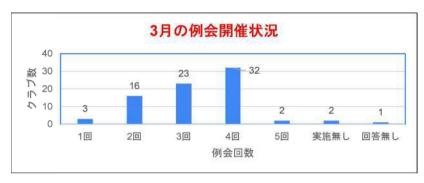
IM	クラブ名	役職	氏名	IM	クラブ名	役職	(
	777 1	会長エレクト	林功			会長エレクト	中井 哲男
	池田	次年度幹事	林原 みどり	2 組	提津	次年度幹事	酒井 弘雄
		次年度クラブ奉仕委員長	奥村 勝彦		1567	次年度長期戦略委員長	和泉慎也
		会長エレクト	服部 潤承			会長エレクト	田中宏
	池田くれは	次年度幹事	奥山 裕治		新大阪	次年度幹事	有田 和哉
		次年度クラブ奉仕委員長	沢田 武司			会長エレクト	河内 幸枝
		会長エレクト	浦収		吹田	次年度幹事	井上 大輔
	箕面	次年度幹事	山本 貴雄			次年度会員增強委員(代理)	大枝正人
		会員増強委員長	木村 貞基			会長エレクト	北村雅計
	箕面千里中央	会長エレクト	上野 弘之		吹田江坂	次年度幹事	内田 潤
		次年度幹事・クラブ奉仕委員長	植田 豊實			次年度クラブ奉仕委員長	金馬隆仁
		会長エレクト	(藤間好太郎)		吹田西	会長エレクト	
	大阪水都	次年度クラブ奉仕副委員長	佐藤 啓介			次年度幹事	木下 基司
		次年度拡大増強副委員長	風呂谷悟志			次年度会員增強委員長	西村 元秀
		会長エレクト	宅野 久夫			会長エレクト	羽根田茂子
	大阪中央	次年度幹事	堀内 智子		高槻	次年度幹事	河合 一人
		次年度会員増強委員長	川上 克己			次年度会員增強委員長	大木 城司
		会長エレクト	岸本健之亮			会長エレクト	寺本 佳弘
	大阪北梅田	次年度幹事	戸谷 太郎		高槻東	次年度幹事	山西 陽祐
		次年度クラブ奉仕委員長	塚本 英			次年度会員推薦委員長	杉岡 宗雄
		会長エレクト	吉川健之	"		会長エレクト	三好 誠
1	大阪北	次年度幹事	森本 尚孝	-	高槻西	次年度幹事	中川雄大
組		次年度会員増強委員長	高田 祥宏	"		会長エレクト	中恒夫
	大阪大淀	会長エレクト	白野 孝明		大東	次年度幹事	空門 満也
		次年度幹事	片桐 真吾			会員増強委員長	田川 和見
		次年度会員增強委員長	ち本 則康			会長エレクト	森原 正樹
		会長エレクト	関 洋輔	"		次年度幹事	住川 奈美
	大阪そねざき	次年度幹事	石井 正人		大東中央	次年度クラブ奉仕委員長	青田 朝代
		次年度副会長	今村 聖三			次年度会員増強委員長	庵谷 和宏
	大阪梅田	会長エレクト	金延 宏明		枚方	会長エレクト	金森 市朗
		次年度幹事	橋本 一範			次年度幹事	仲宗根宏樹
		次年度增強委員長	(神寳 敏夫)			次年度会員增強委員長	村田 孝義
	大阪梅田東	会長エレクト	青嶋 義晴		門真	次年度幹事	吉田 賢典
		次年度幹事	石田 稔之	"]	交野	会長エレクト	吉信 勝
		次年度クラブ奉仕委員長	森田 大			会長エレクト	藤上 孝治
	豊中	会長エレクト	森本 博明		香里園	次年度幹事	岩淺 義彦
		次年度幹事	小川 佳伸			次年度会員增強委員長	小橋 淳一
		次年度会員增強委員長	松山 辰男		くずは	会長エレクト	米田 勉
	豊中千里	会長エレクト	小西 康仁			次年度幹事	田中 商人
		次年度幹事	片瀬 博司			次年度会員增強委員長	秀島 伸彦
		次年度会員増強委員長	藤谷 和憲	3 組	守口	会長エレクト	岡本 博雄
	豊中南	会長	西野 修			次年度幹事	松本 茂
		次年度幹事	西原 英樹			会員増強委員長	前川 正敏
		次年度会員増強委員長	加藤 正		守ロイブニング	会長エレクト	藤井 俊章
	茨木	会長エレクト	殿村 昌弘			次年度幹事	中道 孝治
		次年度会員増強委員長	加藤 眞一			次年度会員増強委員長	宮村 みどり
		会長エレクト	菅原 学			次年度クラブ運営委員長	伴 範子
	茨木東 	次年度幹事	對馬 康全		寝屋川	会長エレクト	川口清
		次年度会員増強委員長	岡田 康夫			次年度幹事	上野友子
	茨木西	会長エレクト	岩上高幸			次年度クラブ奉仕委員長	竹本 憲司
	大阪東淀ちゃやまち	会長エレクト	前田要之助		大阪東	会長エレクト	辰野 久夫
			磯田 郁子			次年度幹事	横井理
2		次年度クラブ奉仕委員長	乾 泰一郎			次年度会員組織委員長	瀬戸口哲夫
組	大阪淀川	会長エレクト	今城 賢		大阪城東	会長エレクト	杉野 政史
		次年度幹事	立岡 幸子			次年度クラブ奉仕委員長	山本 健策
		次年度会員増強・職業分類 選考・クラブ戦略委員長	西﨑 克由		大阪城北	会長エレクト	木野 稔
	千里	次年度会員増強委員長 (会長エレクト代理)	村上 正巳			次年度幹事	岩田 潤
		次年度幹事	奥本 利美			次年度増強委員長	倉沢 栄司
		次年度クラブ奉仕委員長	吉崎 和幸		大阪鶴見	会長エレクト	鳥居 和久
	千里メイプル	会長エレクト	水島 洋			次年度幹事	須田幸史朗
		次年度幹事	山本 友亮			次年度増強副委員長	中森 恭平
		次年度クラブ奉仕委員長	藤田 芳浩				

(敬称略)

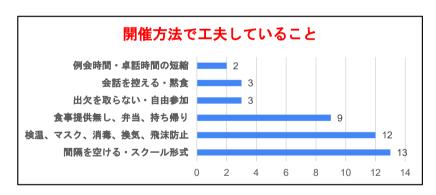
М	クラブ名	役職	氏名	IM	クラブ名	役職	氏名
	東大阪	会長エレクト	池田 裕之			次年度幹事	近藤 佑介
		次年度幹事	池本 達也	5 組	大阪心斎橋	次年度クラブ奉仕委員長	田坂 敏章
		2020-21 会員增強委員会委員長	奥村 龍一			次年度会員増強委員長	森田 邦治
	東大阪東	次年度会員增強・職業分類委員長	城戸総一郎		大阪西南	会長エレクト	豊田勝
	東大阪西	会長エレクト	藤原 史嗣			次年度幹事	古澤 みちよ
		次年度幹事	出口 孝明			次年度会員増強委員長	深田 佳永
		次年度クラブ強化委員長	谷村 佳昭		大阪ユニハ・ーサルシティ	会長エレクト	中井 周治
		会長エレクト	岩橋 竜介			次年度幹事	皆川 祐一
	東大阪中央	次年度幹事	岩﨑 史郎			次年度クラブ奉仕	樋上 久代
		次年度会員增強委員 (代理出席)	帆足嘉寿大		大阪アーバン	会長エレクト	山田芙美江
	東大阪みどり	次年度幹事(副幹事)	表 孝典			次年度幹事	松永明
		次年度増強担当	木戸 章由			次年度会員增強維持委員長	寺内俊太郎
	大阪柏原	会員増強リーダー	伊谷 祐一		大阪うつぼ	次年度幹事	西村純一郎
	大阪御堂筋本町	会長エレクト	松本 憲旺			次年度クラブ奉仕委員長 (次年度副会長)	的場 順子
		次年度幹事	武島 秀吉			次年度会員増強委員長	住吉 依子
4		次年度会員增強·退会防止委員長	富田 進		大阪西	次年度会員增強委員長	古谷 直樹
a	大阪難波	会長エレクト	西原 芳博			会長エレクト	鳥井 信吾
		次年度クラブ奉仕委員長	松浦 孝尚		大阪	次年度会員増強委員長	近藤 康之
		次年度会員増強委員長	川口 栄計			次年度幹事	嘉納治郎右衞門
		次年度幹事	中川 静夫		大阪イブニング	会長エレクト	林 育彦
	大阪ネクスト	会長エレクト	大月 基弘			次年度幹事	長谷川孝夫
		次年度幹事	鵜飼 美江		大阪平野	会長エレクト	福田 修
		会員増強担当委員	呉 龍一			次年度幹事	小南 賢二
	大阪南	会長エレクト	天野 直樹			次年度幹事	岩﨑 良子
		次年度幹事	伊藤 勝彦			次年度会員増強委員長	宮田 天風
		次年度会員増強委員長	島本 恭次		大阪城南	会長エレクト	小林 正啓
	八尾	会長エレクト	田中 康正]	八成2%H	次年度会員增強委員長	南賀 勝之
		次年度幹事	新宮 一誓	6 組	大阪中之島	会長エレクト	辻 一夫
		次年度会員増強推進委員長	山陰 恭志			次年度幹事	嶽下 勇治
	八尾中央	会長エレクト	山本与志弥			次年度会員增強委員長	村上 俊二
	八尾東	会長エレクト	高橋 広一		大阪大手前	会長エレクト	多田 秀觀
		次年度幹事	高岡 正和			次年度幹事	小林アツ子
		次年度会員增強委員長	石川 義一			次年度会員増強委員長	大蔭 政勝
	大阪堂島	次年度幹事	笹田 淳		大阪咲洲	会員増強委員長	上田 彰
	大阪フレンド	次年度增強委員長	齊藤 剛嗣		大阪東南	会長エレクト	北村 佳久
		会長エレクト	金谷和浩			次年度幹事	松﨑 達郎
		次年度幹事	岡 賢一			次年度クラブ奉仕委員長	田中 研一
		次年度会員増強委員長	西垣 浩		大阪天満橋	次年度会員増強委員長	碇 洋司
	大阪みおつくし	会長エレクト	中島武			会長エレクト	寺杣 晃一
5	大阪西北	会長エレクト	妙中 茂樹			次年度幹事	平尾 彰彦
1		次年度幹事	最上 次郎		大阪天王寺	次年度会員強化組織委員長	中島清治
	大阪リバーサイド	会長エレクト	徳上 洋之			会長エレクト	西埜 毅
		次年度幹事	南出 謙一			次年度幹事	羽賀 順一
		次年度会員増強委員長	高濵昌次			次年度会員増強委員長	有村 勇志
	大阪船場	会長エレクト	宮原 彰		大阪帝塚山	会長エレクト	渡邊 純一
		次年度幹事	岩崎 寿英]			

1. 開催状況・開催方法

実施無しと回答したクラブは2クラブのみで、例会を複数回開催しているクラブが多い



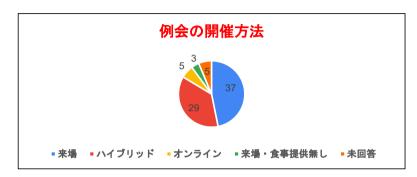
コロナ対策は当然のことであるが、食事を提供しないまたは弁当を持ち帰るなどの工夫が 為されている。



く参考意見>

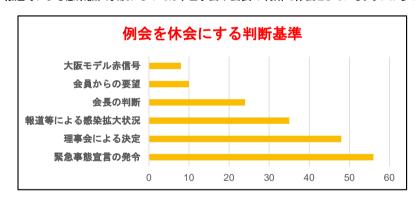
- ・臨時例会として出欠はとらない形式をとっている。
- ・ZOOM活用セミナーを卓話の時間に開催し、クラブ活動を可能にしている。
- ・食事は弁当を準備し原則持ち帰りとし閉会後、会場で個別に食するのは可。 毎回、ZOOMを準備しているが殆ど利用はされず来場されています。
- ・自由出席とし、会員各自に判断してもらう。
- ・通常通り例会場での開催と併せて、ZOOMとYouTubeの配信をしています。
- ・卓話時間を15分に短縮している
- ・休会の場合でも、理事会決議により、自由出席例会(希望者のみ会場 または、 オンラインで参加可能)を行うことができる。
- ・例会時間60分を30分に短縮、例会中は飲食禁止・コロナ対策を施した上で、 食事は例会開始前(希望者は持ち帰り)
- ・会員数の3倍以上の収容力がある会場を使用

コロナ対策を講じた上での来場形式がもっとも多いが、来場とオンラインを 組み合わたハイブリッドによる開催が2番目に多くなっている



休会の判断基準としては、緊急事態宣言の発令下または、大阪モデルの赤信号で休会と 事前にガイドライン等で決めているクラブが多い。

また、報道等による感染拡大状況によっては、理事会や会長の判断で休会としているクラブが多い。



く参考意見>

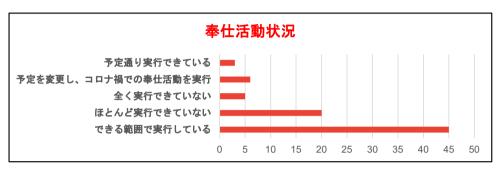
コロナ禍におけるクラブ運営に関するアンケート結果について

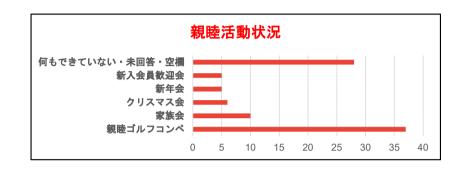
- ・「大阪モデル赤信号」になれば来場からZoomに切り替えることを理事会で決定。
- ・緊急事態宣言中は関係者のみ数人の参加で一般会員はZoomの視聴のみ
- ・運営ガイドラインに基づき各種判断しています
- ・クラブのルールとして大阪府のコロナ警戒信号が赤色時は休会
- ・非常事態宣言が発出された場合は、ハイブリッド例会とするが、理事会判断により、 自由出席例会(休会であるが希望者は会場または、オンラインで参加できる非公式例会)又は、 休会をすることができる。
- ・大阪アラートの色が黄色の場合は翌週の例会を開催するか、当日の例会で決める。
- ・大阪府コロナ対策信号(赤青黄)が前週の金曜日に赤なら翌週の例会は休会、 黄青なら開催。但し、例会までに赤になれば、休会。

တ

2. コロナ禍におけるクラブ活動状況

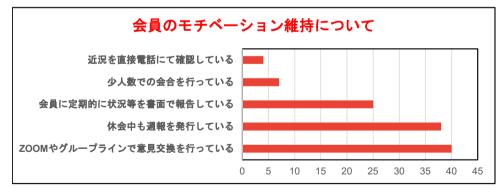
できる範囲でなんらかの奉仕活動を実行しているクラブが半数以上ある半面、ほとんど実行できていない、全く実行できていないクラブの割合も30%以上あり、各クラブの苦心が見受けられる。 対外的な奉仕活動が出来ず、親睦活動についてもコロナ禍の影響を受けにくいゴルフコンペが多くなっている。モチベーションの維持に関しては、ZOOM等の通信手段や会報の郵送によるものが多くなっているが、少人数での会合を行ったり、電話での近況確認を行うなど、できる範囲での工夫が見受けらる。

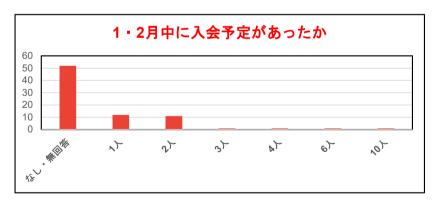




<参考意見>(親睦活動について)

- ・2021年新年初例会、創立記念例会を同日に開催(通常例会より少し華やかな程度)
- ・3月に創立記念兼長寿祝賀例会、4月に花見家族移動例会を各実施しましたが、食事の提供はせず、原則弁当の持ち帰りとしました。
- ・クリスマス会、新年会、家族会、いずれも、夕刻であった開始時間帯を(昼)に内容を変えて実施した。
- ・人と人とが接触すると感染する病気ですので、親睦が根幹のRCロータリーそのものの活動が根本的にできません。 高齢者も多いので、例会はもとよりこれらの親睦に関する活動はできないと思われます。
- ・新型コロナウイルス感染対策を講じたうえで、米山奨学生を交えた食事会 やコロナ禍により休会が続いたことによる食事会の開催
- ・親睦ゴルフコンペ、年末のクリスマス家族懇親会を中止した為、代案として6/30に家族懇親会を実施予定。
- ・クリスマス会が開催出来なかったため、当初予定をしていた5月の家族例会をグレードアップしての開催を予定している。5/30の予定。





<参考意見>(会員のモチベーション維持について)

HPなどを使用し、出来る限りの情報発信を心掛け、奉仕活動についてはコロナ関連の寄付をしております。 クラブホームページの会員専用ページを適宜更新し、会員に情報を周知 会報の代わりに「会長からのお手紙」として会員に送付。また、会員からの投稿等も募集し、コミュニケーションにつとめている。 タイミングを見て、会長から会員に直接メッセージを送っている。3カ月ごとに自由出席例会を含めて、皆出席表彰を行い、参加促進を図っている。

3. 退会防止ならびに会員増強について

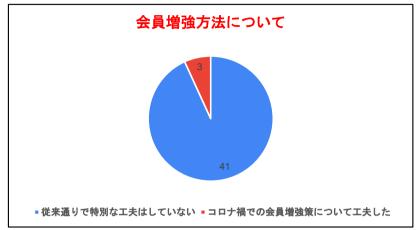
会員減少の理由については、コロナ禍に関係のない個人的な理由が多く見られ、 高齢や死亡によるものが多い。2番目にコロナ禍を要因とする経済的な理由が多い

会員減少クラブの退会理由



- ■コロナ禍に関係のない個人的な理由
- ■コロナ禍を要因とする経済的な理由
- コロナ禍を要因としない経済的な理由
- ■コロナ禍により奉仕活動が行えないため
- コロナ禍により会員相互の親睦が図りにくくなったため

会員増強方法については、従来通りで特別な工夫はしていないクラブが多く、 コロナ禍の中での工夫も難しい状況が想像できる。



く参考意見>

会員増強委員会だけでなく、全委員会・全会員が増強意識を持って勧誘、案内に務め、会員増強へ貢献する。 戦略委員会で検討した、クラブビジョン等を記載した会員拡大向けのパンフレットを作成しました。 通常のMSU活動による増員。

新たに入会案内リーフレットを作成しました。

退会者の再入会

会員全員による増強を呼びかけると共に勧誘チームを結成し情報収集・交換を密にしています。 複数の候補者を招きロータリーガイダンスを開催し、RIや当クラブの活動を紹介しました。 例会にゲストとして卓話をしてもらった

一番多く、次いで会員同士の相互扶助と奉仕活動の充実となっている。 退会防止策についての工夫



退会防止への工夫については、会員同士のコミュニケーションを図る機会を増やすが

- ■会員同士のコミュニケーションを図る機会を増やす
- 会員同士の相互援助(経済面も含む)
- 奉仕活動の充実
- ■会費の値下げ
- 会員種類を増やす

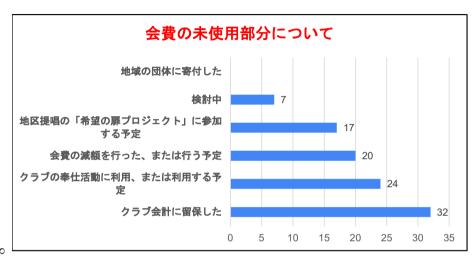
く参考意見>

コロナによる経済的な理由がある場合は特例として1年間休会を認める事にした(利用者なし) 休止会員制度を設けた。シニア会員も検討中。 会員種類を増やす,会費の値下げ,休止会員制度を設けた。シニア会員も検討中。 委員会内の会員同士の電話交流、親しい仲間との電話交流の呼びかけ 極力例会を開く

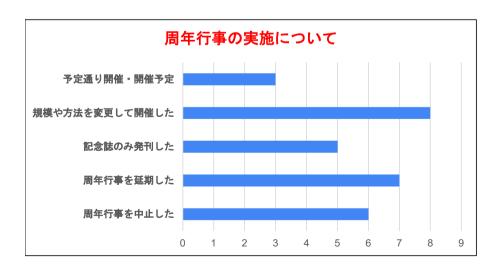
同好会の充実(グルメ、釣り、麻雀、ゴルフ)

4. その他、クラブ運営に関して

コロナ禍で消化できなかった会費の未使用部分については、クラブ開閉に留保するケースが 最も多く、次いで、奉仕活動に利用するが多かったが、会費を減額したまたは、行う予定のクラブ が20クラブあった。



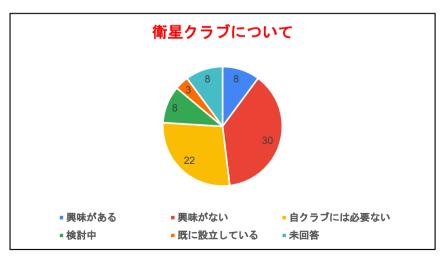
中止や延期をされたクラブが13クラブもあった。記念誌のみの発刊や記念事業のみ行うクラブもあったが、通常通り開催できたクラブもあった。



<参考意見>

- ・コロナ対策特別奉仕に利用した
- ・クラブ会計に留保した, 各親睦例会で会費を徴収していたのを、今後留保金より支出する予定です。
- ・ 休会に伴う費用の一部を、次年度会費に充当する事にした。
- ・ハイブリッド例会開催のための機器購入
- ・家族例会が開催できていないので、休会中の例会費の一部をカタログギフトで各会員宅に郵送。
- ・会長案としては周年事業への積み立てや特別行事への予算積み立て
- ・今後の例会方法として、ZOOM会議などの行う事が決定しその機材を購入する事にした。
- 次年度会費に充当
- ・周年行事に加算し、内容をグレードアップする予定
- ・食事代等の例会に関する費用の合計を会員数で均等割りした金額を返金。
- ・臨時休会分の食費相当額を返金する予定
- ・臨時休会と食事を提供しなかった例会分の食事代金を返金した。
- 例会場のホテルの利用券の形で会員に還元しました。

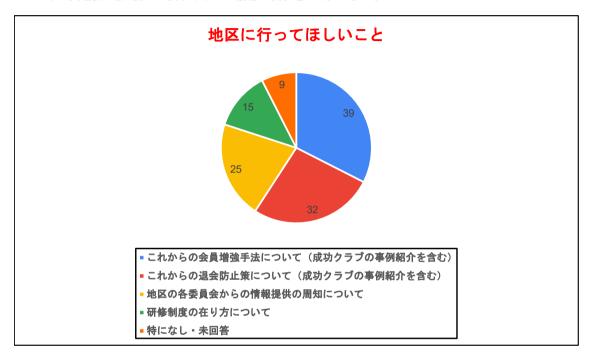
衛星クラブについては、興味がない・必要性がないと回答したクラブが、合わせて52クラブあり、 その存在自体が未だ浸透していない状況であるが、検討中のクラブも8クラブあり、 会員制度の多様化を模索している様子が見受けられる。



0

5. 地区に対しての要望・ご意見

やはり、会員増強・退会防止に関する手法や情報の提供を望む声が多い。



<参考意見>

会報の記事になる情報提供を頂きたい。 定期的に他クラブの状況を知りたい。

My ROTARYの使い勝手の改善

このようなアンケートは必要ないと思います。地区からの要望が多すぎます。

コロナ禍といってZOOM研修等がなされ始められたが、平時でも、ZOOM研修等を行いデジタル化を進めるのが今の時代に合っている。

フレッシュマン(経験3年未満)に対する研修は、今年は中止であったがオンラインを利用するなどして継続して欲しい。

新しい会員種別を作る(会費、出席規定の緩和)

先ずはクラブ自体が楽しく有益だと会員同士が思うクラブになることであります。互いの親睦が深まり、信頼関係があれば自然と各会員は勧誘する意欲が湧くと思います。 地区方針を都度の年度で方針を変更しないで頂きたい。

米山奨学生のオリエンテーションは、広い会場を借りて、リアルに実施するべきではなかったか。何でも「ズーム会議」というのはロータリーの衰退につながりそうで心配である。

をいたします。

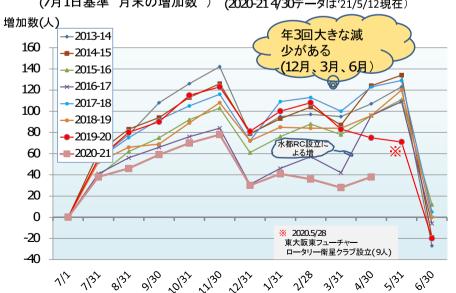
【資料③】

本日お話する内容

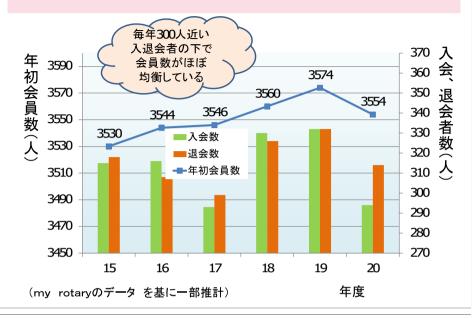
- 昨年度後期からコロナ禍を経験し、今年度後半に入っても2度 の緊急事態宣言が発出されました。多くのクラブは例会が休会 状態となり、このような困難の中、各クラブはロータリー活動を積 極的に展開されておられます。
- また、例会については **Zoom**との併用や、全 **Zoom**での例会など 各クラブで工夫された例会を開催されておられます。
- 本日は、コロナ禍でロータリー活動が制約された環 境の中で、地区会員数の現況のご報告と、 退会防止の観点から会員種類の多様化を、 会員増強に関しては衛星クラブ創設に関する説明

2660地区の月別会員増加数

(7月1日基準 月末の増加数) (2020-214/30データは'21/5/12現在)



最近5年間の年初(7/1)会員と入退会者数



コロナ禍における会員増強の課題

(状況)

- 経済環境の悪化に よる潜在的退会者 の存在
- 三窓を避けるため 例会や親睦を図り にくい環境
- ・ 従来通りの奉仕活 動ができにくい環境

(課題)

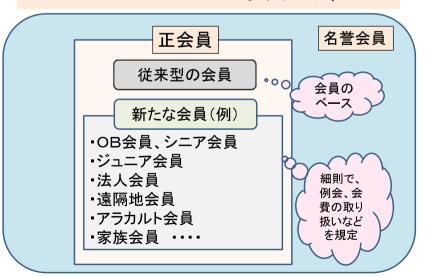
- コロナ禍の経済状 況を考慮した会員 種類の創設
- 親睦と奉仕の新しい 「かたち」の創設
- 衛星クラブ創設を検 討

会員種類の多様化による退会防止

- 2016年RI規定審議会制定「標準ロータリークラブ定款」により、細則で例外規定を設ける事が可能になった。 ←クラブの多様性 (定款第7条に例外規定の細則記載は纏められる)
- 2019年RI規定審議会制定「標準ロータリークラブ定款」もこれを引き継ぐ。

(第7条《会合》第8条《会員身分》第10条《出席》第13 条第4節《会員身分の存続一終結一欠席》)

いろいろな会員種別



(詳細は2660地区ホームページ/資料ダウンロードページ内ー地区委員会資料ークラブ奉仕・拡大増強委員会を参照)

会員種別に関するルール変更

クラブ細則を変更することにより次の例外が認められることとなった。

- ○例会と出席に関する規定の例外 (クラブ定款第7条及び第10条)
 - 例会の回数、内容などの変更⇒ ^{多様な例会} _{が可能に}
 - ・出席に関する規定の変更
- 〇会員身分に関する規定の例外 (クラブ定款第8条)
 - 会員種類の多様化



これらを組み合わせていろいろな会員種別が可能に

会員種別の多様化に関する検討事項

会員種類ごとに次の各項目をどうするのか決めて、クラ ブ細則に盛り込む必要があります。

- 例会の取り扱い 従来通りの例会、WEBなどで補完など。
- 例会の出席義務
 従来通りの出席義務を課す、緩和する、適用免除する、出席義務を緩和した会員が例会に出席した場合の取り扱い(ビジターフィー相当額の聴収等)など。
- 入会金、会費 免除か、減額か、減額の程度は、など。

なお、こうして規定された会員は正会員である限り、RIIに対して人頭分担金など、地区に対して地区負担金など 従来の正会員と同じ費用を支払う必要があります。

1,

衛星クラブについて

• RI第2660地区での衛星クラブ創設

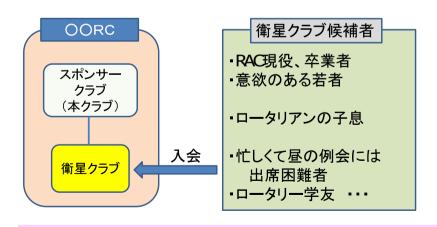
2018.7/2 大阪南なみはやロータリー衛星クラブ 2020.4.30現在 9人(内女性0人)

2019.5/30 大阪中央ミレニアルズロータリー衛星クラブ

2020.4.30現在 13人(内女性5人)

2020.5/28 東大阪東フューチャーロータリー衛星クラブ 2020.4.30現在 11人(内女性3人)

衛星クラブの活用について



衛星クラブのルール(細則)を、本クラブと異なる内容とすること

で多様な会員に入会していただく

(例:安い会費、夕方の例会、2回/月の例会など)

衛星クラブについて

(新クラブ設立)

 (衛星クラブ設立)

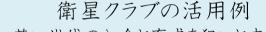
大阪南RC

・衛星クラブは、本クラブ(大 阪南RC)の内部クラブとし て設立

> スポンサー クラブ (本クラブ) 指導

大阪南なみはやロータリー 衛星クラブ設立(2018.7.2)

・設立メンバーは8人以上



~若い世代の入会と育成を狙いとする例~

多くのRC

- ○昼間の例会
- ○高額の会費
- (一流ホテルでの会食)

多くの若い人

〇忙しくて昼間に時間 が取れない

〇お金がない

衛星クラブ設立 (既存クラブとは異なる

既存クラフとは異なる 例会、会費など) 入会

主に20~40歳台の能力のある若い世代 (RAC、IACの卒業者、奉仕活動に興味が ある若者など)

本クラブにとってのメリット(ねらい)

会員増強、活動範囲の広がり(会員多様化、奉仕活動)、将来のリーダー育成、将 来の本クラブ入会、(将来の新クラブ?)

【資料④】

標準ロータリークラブ定款並びにクラブ細則改正に関わる留意事項

1. クラブ定款・細則改正が必要な場合

3年に1度開催されるRI規定審議会において、標準ロータリークラブ定款(以下「標準クラブ定款」という)、推奨ロータリークラブ細則(以下「推奨クラブ細則」という)が改定された場合、各クラブは以下の対応が必要である。

- (1) 現行標準クラブ定款の新たな標準クラブ定款への更新
- (2) 新たな標準クラブ定款の規定に定められた必要なクラブ細則の改正
- (3)新たな標準クラブ定款の例外規定に従い、クラブ独自の細則規定を制定する場合のクラブ 細則の改正
 - ※2016年改正標準クラブ定款では定款の例外規定の細則記載は第7条にまとめられていた。一方2019年改正標準クラブ定款では、第7条(会合)、第8条(会員身分)、第10条(出席)、13条第4節(会員身分の存続—終結—欠席)と各関連条文に個別に例外規定が置かれているが、実質的な変更はない。
- (4) 推奨クラブ細則と既存のクラブ細則の整合の確認
 - ※標準クラブ定款16条のロータリーの目的【第5条】の受諾と定款・細則の遵守
 - ※改正細則の告知期限が採決例会日の10日前から21日前に変更【月2回例会クラブ 用か?・推奨クラブ細則第11条】

2. クラブ細則に記載しなければならない事項

- ●新標準クラブ定款には「細則」の文字が計16か所(「標準ロータリークラブ定款抄」 ①~⑩)
- ●その16か所中、例外に関する規定が5か所(「標準ロータリークラブ定款抄」 10~100)
 - (1) 理事会の位置づけとメンバー【標準クラブ定款第11条、推奨クラブ細則第2条】
 - ・クラブの管理主体は理事会である(罷免権を有する)
 - ・会長、直前会長、会長エレクト、幹事、会計は役員であり、全員理事会メンバーとする
 - ・役員の定義は規定なし?【標準クラブ定款第11条第4節】
 - ・会場監督は役員であるが細則で定めることによりはじめて理事会メンバー
 - ・複数の副会長も役員に含めることができ、その全員が理事会メンバー
 - ・衛星クラブの組織運営規定あり【標準クラブ定款第11条第6節参照】
 - ・クラブ役員は衛星クラブ例会への定期的出席が必要【標準クラブ定款第11条第4節】
 - ・委員会構成について基本型はあるが、クラブの任意【標準クラブ定款第11条第7節】 ※次の委員会を有すべきである (Should be)

クラブ管理運営 会員増強 公共イメージ ロータリー財団、および奉仕プロジェクト

- (2) 例会の開催日時と頻度【標準クラブ定款第7条第1節、推奨クラブ細則第5条第2節】
 - ・クラブは定期の週の定められた日時に、少なくとも月に2回例会を開催しなくてはならない【第1節(a)・(f)】。これまでの標準定款にあった毎週1回の文言が消えている

- ことに留意。
- ・標準クラブ定款第7条第1節(f)に細則優先の例会規定がある。
- (3) 年次総会の開催日時と内容【標準クラブ定款第7条第2節(a)(b)、推奨クラブ細則第 5条第1節)】
 - ・年次総会は毎年12月31日までに開催し、役員の選挙、現年度の中間財務報告と前年 度の決算報告を行う
 - ※2019年改正で中間財務報告と前年度決算報告が義務付けられた。
 - ※その背景は何か?実務対応はどうするのか(細則優先の規定なし)?
 - ・衛星クラブも役員選挙のための年次総会の開催が必要である。
 - ・理事会議事録の備置義務あることに留意【標準クラブ定款第3節・2016年改正】
- (4) 会費の規定【標準クラブ定款第12条、推奨クラブ細則第6条】
 - ・年会費の金額と支払い方法を明示する
- 3. クラブ独自に定めることができる事項
- (1) 例会に関する例外規定【標準クラブ定款第7条第1節(f)】
 - ・例会開催日時、開催方法、会合の変更・取り消しについての自由度
 - ・独自の例会開催頻度の設定(少なくとも月2回)
- (2) 会員身分に関する例外規定【標準クラブ定款第8条第7節】
 - ・正会員、名誉会員以外の会員身分(友好会員、賛助会員、法人会員等)
 - ※フィラデルフィアRC(1912年史上19番目の創設、RI会長2名輩出の名門クラブ) ではアラカルト会員制度導入 (フル29・アラカルト13・法人1・ハッピーアワークラブ8・名誉会員2の計53人)。
- (3) メークアップに関する例外規定【標準クラブ定款第10条第1節(d)、第7節】
 - ・同一年度内メークアップルールに代わるメークアップルールの制定
- (4) 出席規定の免除に関する例外規定【標準クラブ定款第10条第5節(b)、第7節】
 - ・ロータリー歴が20年以上で年齢との合計が85年以上であれば出席規定の適用免除対象(2016年改正)とする条項に代わる独自の出 席免除規定の設定
- (5)例会欠席による会員身分の終結に関する例外規定【標準クラブ定款第13条第4節(c)】
 - ・出席率50%、ホームクラブ出席率が30%以下または連続4回例会欠席の場合は退会 勧告を行うことができる、との条項に代わるクラブ独自のルールの設定
- (6) R I 定款・細則、標準クラブ定款に反しない細則追加規定の制定【標準クラブ定款第18 条】
 - 入会金の設定等
 - ※標準クラブ定款第12条 会費では「すべての会員は、細則の定める年会費を納入するものとする」と規定する(2016年改正)のみで、入会金の収受を必ずしも禁止していない。細則に追加して入会金規定設けても標準クラブ定款に反しないという解釈である。

 以上

標準ロータリークラブ定款 抄

- ●第7条 会合 第1節—例会
 - (a) 日および時間。本クラブは、**①細則**に定められた日および時間に、定期の週の会合を開くものとする。
- ●第7条 会合 第1節—例会
 - (f) 例外。② **① 細則**には、本節に従わない規定を含めることができる。ただし、クラブは少なくとも月に2回、例会を行わなければならない。
- ●第7条 会合 第2節一年次総会
 - (a) 役員を選挙するため、現年度の収入と支出を含む中間報告および前年度の財務報告を発表する年次総会は、**③細則**の定めるところに従い、毎年12月31日までに開催されるものとする。
- ●第8条 会員身分
 - 第7節一例外。 **④ 2 細則**には、第8条第2節および第4~6節に従わない規定を含めることができる。 第2節-種類 第4節-衛星クラブの会員 第5節-二重会員の禁止 第6節-名誉会員
- ●第 10 条 出席

第7節一例外。**⑤ 3 細則**は、第10条に従わない規定を含めることができる。

- ●第 11 条 理事および役員および委員会 第 1 節一管理主体。本クラブの管理主体は、**⑥細則**に規定される理事会である。
- ●第11条 理事および役員および委員会
 - 第4節一役員。クラブの役員は、会長、直前会長、会長エレクト、幹事、会計とし、1名または数名の副会長も役員に含めることができ、これら全員を理事会メンバーとする。また、会場監督もクラブ役員であるが、**⑦細則**が定める場合、理事会のメンバーとすることができる。各役員と理事は、本クラブの瑕疵なき会員であるものとする。クラブ役員は定期的に衛星クラブの例会に出席するものとする。
- ●第11条 理事および役員および委員会 第5節一役員の選挙。
 - (a) 会長を除く役員の任期。各役員は**③クラブ細則**の定めるところに従って選挙されるものとする。会長を除き、各役員は選挙された直後の7月1日に就任し、選挙された任期中または後任者が選挙されかつ適格となるまで在任する。
- ●第11条 理事および役員および委員会 第6節一本クラブの衛星クラブの組織運営。
- ●第 12 条 会費

すべての会員は、**⑩細則**の定める年会費を納入するものとする。

- ●第13条 会員身分の存続 第4節-終結-欠席
 - (c) 例外。① **④ 細則**は、第 13 条第 4 節に従わない規定を含めることができる。

●第18条 22細則

本クラブは、RI 定款・**③細則**、RI によって管理上の地域単位が認められている場合には、その手続き規則、および本定款と合致する**④細則**を採用するものとし、**⑤ ⑤ 細則**は、本クラブの管理のために、さらに追加規定を設けるものとする。**⑥細則**は、その規定に従い、改正することができる。